

一般質問 町政を問う

| | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 自民 | 公明 | 自民 | 自民 | 自民 |
| 公明 | 公明 | 公明 | 公明 | 公明 |
| 改革 | 改革 | 改革 | 改革 | 改革 |
| 共産 | 共産 | 共産 | 共産 | 共産 |
| 民主 | 民主 | 民主 | 民主 | 民主 |
| 日本 | 日本 | 日本 | 日本 | 日本 |
| 主 | 主 | 主 | 主 | 主 |
| 党 | 党 | 党 | 党 | 党 |

質問文は、質問者本人が200文字以内で執筆した原文をそのまま掲載しています。

「認知症サポーター」

100万人キャラバン」の取り組みを

小川 龍美 議員（公明）



町長 できるところから取り組みたい

質問 厚生労働省の「認知症サポーター100万人キャラバン」事業は、本人やその家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを全国で100万人養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指している。

そこで、わが町も認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターを育成すべきと考える。また、人権教育の一環として、学校などで子どもたちを対象とした講座も開催すべきと考えるが、所見を伺う。

町長 認知症サポーター養成は、有効な事業と考えており、制度の

周知など、できるところから取り組みたい。

また、学校としては、総合的学習の時間や特別活動の時間の活用が考えられるが、意図的・計画的、そして将来に向かって継続的な形で実施することが重要であり、十分計画を練って行う必要があるものと考えている。



認知症サポーター養成講座標準教材

高齢者・障害者への生活支援策について

大坪 国広 議員（共産）



町長 火災警報器設置に助成を検討

質問 今年に入って、住民の暮らしを苦しめている。高齢者・障害者への低所得者に対する生活支援策として、次の3点について町長の所見を伺う。

問① 配食サービスにさらなる助成を。

町長 受益者負担の観点から、さらなる助成は難しい。

問② 灯油代に補助を。

町長 寒冷地の自治体では、福祉灯油と言われ

る国の制度を活用している。町はこの制度の対象外であるため、町単独での助成は難しい。今後、国や都の動向を見極めていきたい。

問③ 平成22年4月から設置が義務化される住宅用火災警報器の設置に助成を。

町長 火災は早く気づくことで被害を最小限に抑えることができる。高齢者および障がい者の安全安心な生活を守る観点から、助成について検討したい。



住宅用火災警報器（煙感知）

狭山池周辺を活かした観光振興策を

小池 信一郎 議員（自民）

町長 調査研究に着手したい



狭山池北側の農地

質問 残堀川整備完成記念事業が成功裏に終了した。狭山池は、観光資源として、ますます魅力を増している。付近には、カタクリの群生地があり、丸池周辺は湿生植物園の適地である。観光振興を図るため、次の3点について町長の所見を伺う。

問① 残堀川ウォーキングを恒例の行事とする考えは。

町長 同様の声を多く聞いており、前向きに取り組んでいきたい。

問② カタクリの群生地を公有地にする考えは。

町長 2点目、3点目については、あわせてお答えする。

狭山池は町の一大シンボルゾーンであり、観光資源として一層の活用を図りたいと考えている。そこで、残堀川整備工事が完成したこの機会に、カタクリの群生地も含む狭山池周辺の整備計画を策定するため、調査研究に着手したいと考えている。